

済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	重症喘息患者の生物学的製剤の効果予測因子に関する臨床的背景の後方視的検討 691
当院の研究責任者	呼吸器内科 長谷川 功
他の研究機関および各施設の 研究責任者	<p>研究責任者： 京都府立医科大学大学院医学研究科 呼吸器内科学教授 高山浩一</p> <p>研究代表（統括）者： 京都府立医科大学教育センター・呼吸器内科講師 金子美子</p> <p>共同研究機関：</p> <p>日本赤十字社 京都第一赤十字病院 呼吸器内科 弓場 達也 日本赤十字社 京都第二赤十字病院 呼吸器内科 吉村 彰宏 医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院 呼吸器内科 千原 佑介 社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院 呼吸器内科 長谷川 功 洛和会 音羽病院 呼吸器内科 田宮 暢代 独立行政法人 市立大津市民病院 呼吸器内科 竹村 佳純 社会福祉法人恩賜財団 済生会京都病院 呼吸器内科 張田 幸 パナソニック健康保険組合 松下記念病院 呼吸器内科 山田 崇央</p>
本研究の目的	<p>本研究の目的は、気管支喘息患者様のうち生物学的製剤を使用している患者様の背景、検査所見、経過などの診療録を元に検討することで、重症な気管支喘息患者様の個々に応じた生物学的製剤を選択していくための予測因子を探索することを目的としています。本研究により日常診療における治療選択をわかりやすくすることで、重症喘息患者様の増悪の頻度を減らし、喘息死や入院といった有害事象を減らすことに繋がることを期待しています。</p>
調査データ該当期間	2016年1月1日から2024年12月31日まで

<p>研究の方法 (使用する試料等)</p>	<p>●対象となる患者様 済生会滋賀県病院呼吸器内科で、気管支喘息に対して生物学的製剤を用いて治療を受けている18歳以上の患者様が対象となります。</p> <p>●利用する情報 情報：病歴、カルテ番号、喫煙歴、既往症、内服薬、身長や体重、喘息発症時期や治療期間、血液検査所見等</p>
<p>試料/情報の他の研究機関への提供及び提供方法</p>	<p>生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて、郵送で情報を提供します。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>患者さんの測定結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定します。</p> <p>また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。</p> <p>なお、この研究で得られた情報は研究責任者（京都府立医科大学 呼吸器内科学教室 教授 高山浩一）の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>利益相反とは、寄附金の提供を受けた特定の企業に有利なようにデータを操作する、都合の悪いデータを無視するといった、企業等との経済的な関係によって、研究の公正かつ適正な実施が損なわれるまたは損なわれているのではないかと第三者から懸念される状態をいいます。</p> <p>本研究の資金源は教室費です。本研究の研究責任者はアストラゼネカ株式会社から講演料を受けています。本研究に関する利益相反については、京都府公立大学法人の利益相反に関する規程、京都府立医科大学の臨床研究に係る利益相反に関する規程等にしがって管理されています。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話番号：077-552-1221 所属・職名：済生会滋賀県病院 呼吸器内科部長 担当者氏名：長谷川 功</p>

備考	
----	--